

第1講	国際関係	2
第2講	メディア・情報	10
第3講	現代の若者子供・教育	18
第4講	日本の文化	26
第5講	言語	34
第6講	日本語	42
第7講	文学・芸術	50
第8講	哲学	58
第9講	科学	66
第10講	紀行	74
第11講	日常生活	82
第12講	文化・芸術	90
第13講	明治・大正の文学	98
第14講	戦前の文学	106
第15講	戦後・現代の文学	114
主な論調・キーワード		122

■ 問題 1

◇ 次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

50 45 40 35 30 25

(注) タシケント…ウズベキスタンの首都。古くはロシア領だった。

(青木保「多文化世界」より)

大意を把握する

「多文化世界」の内容を、文章の流れに沿って次のようにまとめた。に入る言葉を文章中から抜き出して答えよ。

●日本でも国際化が必要であると言われたが……

日本の国際化とは、アメリカや西ヨーロッパの基準に①させることであり、旧ソビエト圏や中国は視野に入っていなかった。

しかし、

東西のイデオロギー対立がなくなり、国際化を全地球で展開するといふ意味で、②化という言葉が出てきた。

世界を同じシステムにしようとする流れの中で、

明らかになってきたことは、「文化の③」の認識であった。

グローバル化は、アメリカ的なシステムで

世界を④しようとする動きとしても強く表れている。

グローバル化が、一様化、

⑤に向かうことへの⑥が世界各地に強くある。

①	②	③
④	⑤	⑥

内容を解釈する

「多文化世界」に述べられている日本での「グローバル化への流れ」を、時代に沿って、年表のようにまとめた。に入る言葉を文章中から抜き出して答えよ。

〈一九八〇年代〉 ①化

西 アメリカや西ヨーロッパに適合
東 旧ソビエト圏・中国は視野の外

〈年代〉グローバル化 ③を覆う形での展開

「文化の多様性」が初めて認識される。

文化・価値・生き方・目標の④が

明らかになってくる。

〈新世紀〉

理想

多様性と⑥する方向

現実

一様化、画一化に向かう

危機感

①	②	③
④	⑤	⑥

年表にして、見やすく整理する。

↓内容の移り変わりが明確に捉えられる。

◇ 次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(注) タシケント…ウズベキスタンの首都。古くはロシア領だった。

(青木保「多文化世界」より)

問一 線①「国際化」とあるが、一九八〇年代の日本の国際化を次のよう
 にまとめた。「 」に入る語を、本文中から十一字で抜き出して答えよ。
 日本の文化や社会のシステムを、

のシステムに適合させ

50 45 40 35 30

ること。

問二——線②「動き」とあるが、どのような動きか。最も適当なものを次の

ア～エから一つ選び、記号で答えよ。

ア 自由主義世界の欧・米がつくりだした政治システムに、日本も従わなければいけないという動き。

イ 自由主義世界の欧・米がつくりだした、日本にも利益がある経済活動に参加していかなくてはいけないという動き。

ウ 自由主義世界の欧・米がつくりだしたさまざまな国際的基準に追いつくように、日本も発達していかなくてはならないという動き。

エ 自由主義世界の欧・米がつくりだしたさまざまな国際的基準の発達に、日本も役立ちながら、適合していかなくてはならないという動き。

問三——線③「それらの国々や地域」とは、どこを指すか。本文中から抜き出して答えよ。

「」

問四 A に入る最も適当な語を、次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

ア また イ しかし ウ あるいは エ だから

「」

問五——線④「そうした背景」の指す内容として最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

ア 自由主義圏と社会主義圏が、長い間、イデオロギー対立をしてきたこと。

イ 東西のイデオロギーの対立がなくなり、何事にも、全地球を覆う形での展開が求められるようになったこと。

ウ 東西のイデオロギーの対立がなくなり、ソビエト圏や東欧圏も、自由主義圏を世界モデルとしなければならなくなったこと。

エ グローバル化という言葉には論者によってさまざまに異なる意味が付与されていること。

「」

問六——線⑤「グローバル化の中で初めて強く認識された」ことは何か。本文中から六字で抜き出して答えよ。

「

<input type="text"/>
<input type="text"/>
<input type="text"/>
<input type="text"/>

問七 B に入る最も適当な語を、本文中から抜き出して答えよ。

「」化

問八——線⑥「グローバル化は、欧・米的なシステム、特にアメリカ的なシステムで世界を統合しようとする動きとしても強く表れています」とあるが、このことを批判的に表した表現を本文中から五字で抜き出して答えよ。

<input type="text"/>
<input type="text"/>
<input type="text"/>
<input type="text"/>

問九——線⑦「危機感」とあるが、どのようなことを危機だと感じているのか。本文中の言葉を用いて二十字程度で説明せよ。

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

問十 本文の内容に合致するものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

ア 各国の文化の違いが明らかになったため、グローバル化が進められた。

イ グローバル化が進むにつれ、世界の文化や価値観は画一化された。

ウ グローバル化が進むにつれ、文化の多様性の重要性が意識され始めた。

エ グローバル化には、欧米に偏らない全地球での文化統合が期待される。

「」

■ 問題 2

◇ 次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

50 45 40 35 30

(注) 篤信：信仰が厚いこと。

業病：悪い行いの報いにかかる難病。

与件：論議の余地のない事実。

(内田樹「日本辺境論」より)

大意を把握する

「日本辺境論」の内容を、文章の流れに沿って次のようにまとめた。
 に入る言葉を文章中から抜き出して答えよ。

●「虎の威を借る狐」と言うが……

日本人は、本質的に「狐」であり、自分が何を欲望しているのかを、
 ①の欲望を模倣することでしか知ることができない。

「ヨブ記」にもあるように、

自分の存在の②について、人間は語ることができない。
 つまり、人間は本能的にこの③に対して遅れている。

欧米の人はこういう考え方をしないが、

日本人にはあまり④がないのは、それが私たちの実感だから。

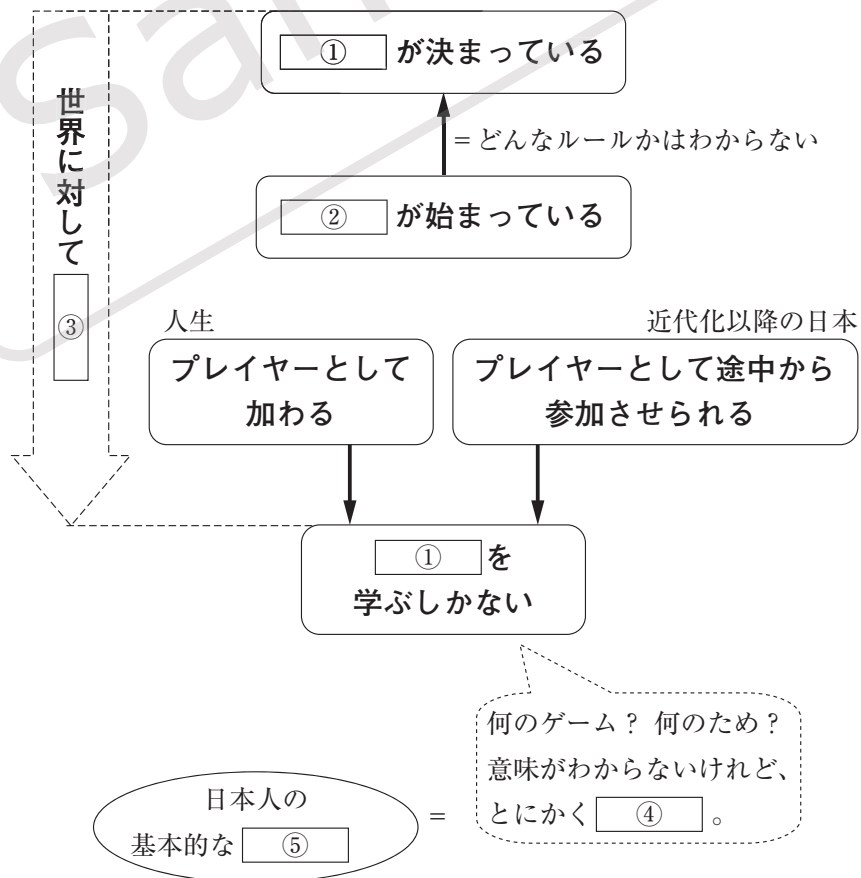
ゲームに遅れて参加してきたので、どうしてするのか、何のためなのか、
 いまひとつ意味がわからないが、とにかくやるしかない。

これが⑤以降の日本人の基本的なマインドであり、古代から形
 成してきた心性・⑥ともつながりがあるのではないかと思う。

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥

内容を解釈する

「日本辺境論」に用いられている「ゲーム」の比喩に注目して、次のように
 まとめた。に入る言葉を文章中から抜き出して答えよ。



比喩に注目して分析する。↓筆者が述べたい内容がわかる。

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

◇ 次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

50 45 40 35 30

(注) 篤信：信仰が厚いこと。

業病：悪い行いの報いにかかる難病。

与件：論議の余地のない事実。

(内田樹「日本辺境論」より)

問一 — 線①「虎の威を借る狐」の意味として最も適当なものを、次のア

エから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 権力者になったつもりの人。
- イ 権力者の顔色をうかがう人。
- ウ 権力者の力をかさに着ていばる人。
- エ 権力者に媚びる人。

「 」

問二 — 線②「ほんとうは何をしたのか」を、日本人が言えないのはなぜ

か。最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

- ア いつも「他の人からどう思われるか」を気にしているから。
- イ いつも「他の人は何をしたいのか」をまねているだけだから。
- ウ とつさに「他の人は自分は何をしてほしいのか」と考えるから。
- エ どうしても「自分は何をしたのか」を知られたいから。

「 」

問三 — 線③「そのすべて」とは、すなわち何か。次の□に入る最も適当

な語を、本文中から抜き出して答えよ。

あらゆる存在の

□

問四 — 線④について、次の問いに答えよ。

(1) 「そういう仕方」の指す内容を、本文中から抜き出して答えよ。「 」に入る

最も適当な語を、本文中から抜き出して答えよ。

- すでに「 」があって始まっている「 」
- に、後から「 」として加わり、「 」をし
- ながら「 」を学び、「 」がわかるまで待
- つというやり方。

(2) (1)のような行動の本質を表している部分、を本文中から十一字で抜き

出して答えよ。

問五 — 線⑤「私たちの実感だから」とあるが、日本人はいつ実感したのか。

本文中から五字で抜き出して答えよ。

□

問六 — 線⑥について、次の問いに答えよ。

(1) 「日本人の基本的なマインド」とは、どのような気持ちか。次の□

に入る部分を、本文中の言葉を用いて二十五字程度で答えよ。

近代化に遅れて参加したので、

という気持ち。

(2) 筆者が、日本人がこのマインドを形成した要因の一つと考えているも

のを、本文中から二十字で探し、最初の五字を抜き出して答えよ。

□

問七 この文章の内容として最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記

号で答えよ。

- ア 諸外国ですでに進んでいる事象に、日本は常に後から参入させられ、その目的や意味は不明のまま、何はともあれ突き進んでいく。
- イ 諸外国で進んでいる事象を鋭く察知し、開始時期は遅れても、日本流の方法を模索し、主体的に成し遂げていく。
- ウ 日本は諸外国ですでに完成している事柄を見習い、その目的や意味も熟慮しつつ、他国を模倣することによって追いかけていく。
- エ 日本は何事も諸外国からの圧力によって開始するが、その目的や意味に疑問を感じてたびたび脱落し、常に他国に後れを取っている。

「 」